

2022年度

新年総会資料

2022年1月14日（金）



一般社団法人 館山青年会議所

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

*That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality; and
That service to humanity is the best work of life.*

JCI 約領

我々はかく信じる・・・

「信仰は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家の主権を超越し
正しい経済の発展は自由経済社会を信じて最もよく達成され
政治は人によって左右されず法によって運営さるべきものであり
人類の個性はこの世の至宝であり人類への奉仕が人生最善の仕事である」

JCI Mission

To provide development opportunities

that empower young people to create positive change

(青年会議所は青年が社会により良い変化をもたらすための成長と発展の機会を提供する)

JCI Vision

To be the leading global network of young active citizens

(青年会議所が行動を起こす青年の国際的ネットワークを牽引する)

『JC 宣言』

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

関東地区宣言

わたしたちは日本の礎として
あらゆる未来をみつめ
多様性溢れる 仲間と共に鳴し
新たな価値の創造により
新時代の旗手となることを誓う

2022年度 一般社団法人 館山青年会議所 新年総会式次第

日時 : 2022年1月14日（金）

場所 : 夕日海岸 昇鶴

司会 : 田中 康平

直前理事長（早川 剛史）

副理事長（福原 巧太）

1、点鐘

2、開会の辞

3、国歌清聴

4、JCソング清聴

5、JCI Creed朗読

6、JCI Mission並びに、JCI Vision 朗読

7、JC宣言文朗読並びに綱領朗読

8、関東地区宣言朗読

9、総会成立報告

10、来賓、特別会員、オブザーバー紹介

11、2021年度理事長挨拶

12、2022年度理事長挨拶

13、議長選出

14、議事録作成人及び議事録署名人選出

15、議事

第1号議案 2021年度事業報告承認の件

2021年度専務理事（川名 義人）

第2号議案 2021年度修正予算(案)承認の件

2021年度財政局長（大橋 直人）

第3号議案 2021年度会計報告承認の件

"

第4号議案 2022年度役員並びに委員会構成承認の件

2022年度専務理事（本間 充）

第5号議案 2022年度事業計画(案)承認の件

"

第6号議案 2022年度修正予算(案)承認の件

2022年度財政局長（高橋 森生）

第7号議案 その他

16、感謝状授与

17、監事講評

外部監事（千原 清之）

18、閉会の辞

副理事長（望月 大輝）

19、点鐘

理事長（青木 崇）

〈 2022年度 公益社団法人 日本青年会議所 スローガン 〉

愛が、希望に変えていく。

〈 2022年度 関東地区協議会 スローガン 〉

希望溢れる 未来の実現

〈 2022年度 千葉ブロック協議会 スローガン 〉

共に手を携え 共に栄える

共栄の千葉の創造

〈 2022年度 一般社団法人 館山青年会議所 〉

継 承

～明るい豊かな未来のために～

青年会議所とは

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所（商工会議所法制定にともない青年会議所と改名）設立から、日本の青年会議所（JC）運動は始まりました。

共に向し合い、社会に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本JC）が設けられました。

現在、全国に青年会議所があり、“修練・奉仕・友情”の三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。

さらには、国際青年会議所（JCI）のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を開催しています。

青年会議所の特性

青年会議所には、品格ある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。

会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られます。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせていただきます。青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国会議員をはじめ、知事、市長、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

国際青年会議所（JCI）について

自由な社会と経済発展を実現し、新しい社会をリードするにふさわしい人材育成を目的として、1915年にアメリカ・ミズーリ州セントルイスに生まれた小さな青年活動グループから始まったJC運動は、その活動が認められ、アメリカの社会的活動を担う主要な青年団体へと発展していきました。

1944年には「積極的な変革を創り出すのに必要な指導者としての力量、社会的責任、友情を培う機会を若い人々に提供することにより、地球社会の進歩発展に資すること」を使命に、アメリカ、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマの8カ国によって国際青年会議所（JCI）が発足。その後、年々加盟国は増え、日本も1951年に加盟、JCIの一員として新たな活動の一歩を踏み出しました。

会員数17万人以上の世界で最も大きな青年団体です。現役メンバーに加え約250万人以上ものOBがいます。毎年11月には世界会議が開催され、世界中のメンバーが一堂に会する重要な国際交流の場となっています。

総会に対する理事会の提出書

2021年度事業報告書、貸借対照表、収入決算書、財産目録及び2022年度事業計画並びに収支予算を別紙のとおり総会に提出します。

2022年1月14日

一般社団法人 館山青年会議所

2021年度理事長 早川 剛史

理事 10名

2022年度理事長 青木 崇

理事 14名

2021年度

事業報告並びに決算書

2021年度 事業報告

一般社団法人館山青年会議所
2021年度 理事長 早川 剛史

2021年度は「躍動」のスローガンのもと、活動して参りました。

前年度からの新型コロナウィルス感染拡大の影響もあり、計画していた内容を1月から変更せざるを得ない状況からの1年間のスタートとなりました。

理事をはじめとするメンバーの皆様には、迷いやもどかしい思いをさせてしまうこともあったと思いますが「どんな状況でも活動を止めない」と、出来る事を探し事業の構築に努めて頂きました。

1年間という時間は誰にでも平等に流れしており、全て自らの選択によってその結果が大きく変わってきます。

今、本年度1年間を振り返ったとして、メンバーの皆様が考えていることが、そのまま本年度1年間の集大成だと思います。

悔いの無いJ C活動のために、人生の為に、本年度の活動を糧に来年度以降に活かして頂ければと思います。

総務委員会は福原委員長を中心として

1月例会『新年総会』

4月例会『究極の防災～災害に対するリスクマネジメント～』

7月例会『持続不可能世界から脱出せよ～SDGsMISSION～』

9月例会『定時総会』

以上の設営をして頂きました。

理事長所信を読み解き、理解し、委員会メンバーで協力し合いながら創り上げてくれた例会が多かったと思います。

どの年度においても総務委員会は必ず設置されます。2021年度の総務委員会メンバーの活動が次年度以降にも引き継がれ、持続可能なJ C I館山となるよう、今後の活動に活かして頂ければと思います。

会員増強委員会では望月委員長を中心として

2月例会『2021年度の出航（はじまり）～持続可能な発信～』

5月例会『「MTGプロジェクト」

南房総ティクアウトグランプリ～皆で手を取り頑張んべえ～』

10月例会『会員オリエンテーション～地域を愛し、仲間を愛す～』

12月例会『2021年度 一般社団法人館山青年会議所 卒業式例会』

以上の設営をして頂きました。

新たな手法として、活動のWEBや新聞での発信から始まり、地域の根本的な問題に取り組み、メンバー以外の他団体や多くのオブザーバーを巻き込んで活動してくれました。

この出会いや運動は、J C I館山の今後にとって大きな財産となり、いつか私たちを助けてくれることと思います。

卒業式例会では、様々な制限がかかる中でしたが、望月委員長の1年間の集大成として、個人の成長と委員会の成長が存分に發揮できた例会となりました。

最後の例会としてふさわしい内容のものでした。

地域・人間力開発委員会では小金委員長を中心として

3月例会『プロジェクト SAKURA』

6月例会『「What's JC?」』

8月例会『伝統工芸を学び未来を照らそう』

11月例会『未来を照らす 地域を照らす』

以上の設営をして頂きました。

本年度だけで終わることの無い、未来のメンバーへも引き継げる内容の例会から始まり、委員会メンバーのほとんどが卒業生で構成された委員会ならではの事業を構築して頂き、メンバーの資質向上に尽力してくれました。

また、青少年事業では地域に住まう皆様すべてを明るく照らす花火を打ち上げることができました。まさに J C I 館山だからこそできた、他の団体では出来ない事業を完遂させてくれました。

「躍動」とは「若者が活き活きと活動する様」です。

私たち青年会議所メンバーは、出来る事だけをやり続ける団体ではなく、目の前の出来ないことに勇猛果敢に挑戦し、乗り越えて、仲間と地域を牽引するリーダーです。

歴史と伝統のある J C I 館山の理事長の職をお預かりするということは、多くのメンバーにとって大きな挑戦となります。

私にとっても挑戦であり、絶対に成功させなければならないプレッシャーからは、この1年間で1日も逃れることは出来ませんでした。

そんな時に支えてくれたのはメンバーの皆様です。

各会議も、例会も、すべての青年会議所活動は一人でできるものではありません。

必ず仲間と共に取組まなければ成功できないようになっています。

いつでも頼れる仲間がいることを誇りに思ってください。

最後に、どんな時でも私を支え続けてくれた執行部の皆様に最大の感謝を申し上げ、
2021年度理事長として事業報告とさせて頂きます。

1年間、お世話になりました。

本当にありがとうございました。

2021年度委員会事業報告

総務委員会

副理事長

川名 義人

【事業報告】

2021年度、副理事長として早川理事長の掲げたスローガン『躍動』のもと、福原委員長率いる総務委員会の担当を務めさせていただきました。

本年度の最初の例会である1月例会、新年総会を設営させていただきましたが、新型コロナウイルス感染予防により、メンバーのみのオンラインでの開催を余儀なくされましたが、定款に則り、2020年度の事業報告並びに2021年度の事業計画について滞りなく審議可決いただきました。

4月例会では、究極の防災～災害に対するリスクマネージメント～と題しまして、令和元年度の台風災害の経験を経て、災害はいつでも・誰に対しても起こりうるという事実に直面したからこそ、万が一の際にJCI館山として行動できる組織づくりを目指し、メンバー内で学び、共有をいたしました。

7月例会では、「持続不可能世界から脱出せよ～SDGsMISSION～」と題しまして、活動地域内の小学5・6年生を対象とし、謎解き×体験を通じゲーム感覚でSDGsを学んでいただける例会を行いました。机上で学ぶ勉強とは違い、参加した子供たちからは楽しかったとの声や、今日から実践できることが沢山あって驚いたなどの声が寄せられ、総務委員会のみならずJCI館山メンバーにおいてもSDGsのアウトプットの場となりました。

総務委員会が担当する9月の定時総会では、当初の予定では会場を借りてメンバーだけでなく、館山青年会議所シニアクラブ並びにOB特別会員の皆さんと一緒に、定時総会を執り行う予定でしたがコロナウイルス感染症による緊急事態宣言の延長に伴い、現役メンバーのみでの完全オンライン開催となりましたが、当日は議事もスムーズに進み2021年度の中間報告並びに2022年度の人事の承認がされました。

本年度は、スタートの時点からコロナウイルスと対峙し例会や事業の構築をしなければいけない中、福原委員長率いる総務委員会のメンバーには本当に柔軟に対応し、開催まで頑張ってくれました。何があつても活動をやめないその姿勢は正に、理事長の掲げるスローガン『躍動』そのものだったと感じます。

本当に1年間、お疲れ様でした。

会員増強委員会

副理事長

御子神 崇裕

【事業報告】

2021年度、「躍動」のスローガンのもと副理事長として会員増強委員会を担当させて頂きました。

2月例会では「2021年度の出向～持続可能な発信～」と題し、YOUTUBE「JCI館山チャンネル」設置・SDGsを取り入れた持続可能なJC活動発信を房日新聞様に記事にしていただき定期的なコーナーを設けていただくなど「躍動」の基、一年の活動方針を対外に発信することでパートナーシップをより強固にすることができます。

5月例会では「MTGプロジェクト～南房総テイクアウトグランプリ～」と題し、商工会と地域の飲食店の方々に協力していただき、各飲食店が用いた弁当を地域の方々へテイクアウトするイベントを開催しました。コロナ渦でほとんどのイベント等が中止となる中で、開催に向けて多くの方々にご協力いただき結果、目標500名を上回る738名の来場がありました。そしてただ販売だけではなく来場者への飲食店の周知や売上の一部を医療従事者へ寄付するなどの持続可能な活動にすることがきました。

10月には「会員オリエンテーション～地域を愛し、仲間を愛す」と題し、会員の増強を目的とし、オブザーバー参加型のグループワークを用いた例会をしました。9名のオブザーバーの方々には実際の活動内容であったりメンバーの生の声を聞いていただきました、メンバー内では会員拡大の必要性や歴年数関係なく意見交換することで改めて結束力を高めることができました。また、メンバーの皆さまの参加周知のご協力により100%例会を達成することができました。

12月の卒業式例会では、このJCI館山を背負って立っていた7名のメンバーを送り出す卒業式となりました。コロナ渦の影響が緩和され例年通りシニアの諸先輩方もお呼びすることができ、盛大な卒業式にすることができました。委員長含め委員会メンバーが一年の中で一番思いが詰まった例会であったのではないかと思います。お世話になった卒業生を感謝し送り出すと共に次年度へもしっかりシフトしますという設えができており設営の立場ではありましたが、今まで一番感動した卒業式でした。そして望月委員長、一年間本当に疲れ様でした。JCIの良いところの一つとして、同じ土俵に立ち一つのものに取組む中で、この人、あの人のここがすごいなど年齢差を関係なく学べるとこであると聞きました。その一人があなたでした。いつ何時でもポジティブでポテンシャルが高くリーダーとして委員会メンバーを引っ張ってくれました。例会一つ一つに取組む姿勢が本当に真剣ですべての例会において次に繋がる設えとなっていました。やると決めたからには妥協を許さない熱意ある男望月委員長本当にかっこ良かったです。また委員長を支えていただいた委員会メンバーの皆さま一年間本当にありがとうございました。最高のメンバーが揃った委員会だったと思います。

早川理事長、副理事長として私を選んでいただいたこと、一年間共にできたこと、二度とないであろうこの執行部の一人として一緒にできること改めて感謝申し上げ事業報告とさせていただきます。

2021年度委員会事業報告

地域人間力開発委員会

副理事長

青木 崇

【事業報告】

2021年度、地域・人間力開発委員会では早川理事長の掲げた『躍動』のスローガンのもと活動してきました。

2月事業では、恒例事業となっている献血事業を実施し、メンバーの協力はもとより、シニアクラブ会員、地域の皆様の協力の下、多くの方に献血をしていただくことが出来ました。青年会議所が行う事業が、社会貢献に繋がっていることを強く体感する事が出来ました。

3月例会では、2市1町の小学校6年生を対象とした記念植樹と、8年後の自分に向けた手紙を書いて頂く場を設けさせて頂きました。新型コロナウィルス感染症により、数々の行事が中止となってしまった小学校6年生に、形として、そして記憶にも残る場を設営させていただきました。未来を見据える機会、そして今という大事な時間を仲間と共有する場を設けることが出来ました。

6月例会では、JC会館にて公益社団法人日本青年会議所 専務理事 中島土くんに講師を務めて頂き、青年会議所の使命・目的、青年会議所運動とは何かを学ぶことが出来ました。活動ではなく、運動を展開するための手法、考え方を学び、今後の青年会議所活動をより良いものにすることが出来ると感じる場となりました。

8月例会では、子どもたちに伝統工芸である花火づくりを体験してもらいました。仕組みを学び、多くの方の協力があつてものづくりがされていることを学ぶことが出来ました。また、子どもたちにオリジナル花火をデザインしてもらい、子供たちの想像力を感じ、笑顔に触れる場となりました。

11月例会では、8月例会にて子供達がデザインしたオリジナル花火を打ち上げ、WEB配信の中で観覧していました。また、地域を明るく照らす意味を込めて多くの花火を打ち上げ、多くの方に観覧頂きました。

まだまだ新型コロナウィルス感染症の影響が収まらない中での各種例会、事業となりましたが、小金委員長を始めとする地域・人間力開発委員会のメンバーの協力の下、密度の濃い、熱い例会、事業を開催させていただきました。2021年度に卒業されるメンバーが委員会メンバーの大多数を占めましたが、最終年度に共に活動させていただき、その行動力、影響力の大きさを体感させていただきました。小金委員長を始めとする委員会メンバーに感謝申し上げます。

また、このような素晴らしい委員会に携わる機会を頂いた早川理事長に感謝申し上げ、事業報告とさせていただきます。

1年間ありがとうございました。

2021年度委員会事業報告

総務委員会

委員長

福原 巧太

【事業報告】

2021年度、総務委員会では理事長の掲げた『躍動』のスローガンに基づき活動してまいりました。

1月には、新年総会を行いましたが、新型コロナウィルス感染症拡大により、千葉県に緊急事態宣言が発令され、大人数での集まりを避ける為に、事務局開催に変更し、オンラインとのハイブリット開催を行いました。音響設備の都合上、基調講演は残念ながら開催できませんでしたが、新年総会自体をしっかりと設え、メンバーと総会内容について共有することができました。

4月例会としては、究極の防災～災害に対するリスクマネジメント～を開催させて頂きました。災害後だからこそ考えられた事前対策を振り返ることにより、今後いずれ来るであろう災害へ対する意識の向上を図ることができたと感じました。そして館山青年会議所として横の繋がりを確立し、有事の際に活動できる体制、組織案を作成することができました。今後災害が起った際にまずはこの組織表に沿って一早く活動できるようメンバーの皆様のご協力をお願いしていきたいと思います。

7月例会では、SDGs MISSION～持続不可能世界から脱出せよ～を開催いたしました。昨今SDGsに対する学びは行われているものの、本質的に理解をしている子供は少ないと感じ、体を使った実体験を通して学べる例会と致しました。手作り感満載ではありましたが、だからこそ我々メンバー自身も学ぶことができ、多くの子供たちに参加していただき実りのある例会を開催できました。今例会をきっかけに、SDGsに取り組む子供達が一人でも多く増えることで、明るい未来に変えていけるのだと感じました。

9月には定時総会を行いました。これもまたコロナ渦であり、メンバーのみでの開催となっていましたが、中止という選択ではなく、出来る方法を考えるという観点で、ハイブリット方式で行い、総会を新しい様式で設営するスタイルを確立していくかと感じました。

この一年間、様々な活動をさせて頂いた中で、あらゆる時代の変化を受けても、躍動していくためにはどうしたら良いのかということを考えさせ続けてこれた貴重な日々だったと思います。

一年間ありがとうございました。

会員増強委員会

委員長

望月 大輝

【事業報告】

2021年度会員増強委員会では、理事長の掲げた『躍動』のスローガンを念頭に活動して参りました。

2月例会では、2021年度の出航(はじまり)～持続可能な発信～と題しまして実施させて頂きました。新型コロナウィルス感染拡大の影響によりオンラインの例会となりました。例会では、あらゆる状況でもJC運動を発信できるようにYOUTUBEチャンネルJCI館山を開設し、理事長の事業方針を発信いたしました。また、SDGsをより身近に感じれるよう、17のゴールを我々の地域に照らし合わせて考えるグループワークを行いました。

5月例会では「MTGプロジェクト」南房総テイクアウトグランプリ～皆で手を取り頑張んべえ～と題しまして地域の異団体と協力し、南房総市地域に笑顔を届けることを目的として活動地域のテイクアウト商品のグランプリを開催いたしました。当日は、一般市民500名の来場目標のところ738名にご来場頂き、結果1064食のテイクアウト商品が完売となり、事業後には一般社団法人安房医師会にチャリティーとして集まった106,400円を贈呈することが出来ました。例会を開催するにあたり、準備段階から当日に至るまで沢山の方々のご協力を賜り無事終えることが出来ました。

10月例会では、会員オリエンテーション～地域を愛し、仲間を愛す～と題して実施いたしました。

例会内では、JCI館山の歴史を振り返るとともに会員減少に伴う現象をメンバー共有し、会員拡大の必要性を改めて確認するとともに、グループワークやアトラクションを通してメンバーエンゲージメントを高めることが出来ました。また本例会では例会出席率100%も達成することができました。

12月例会では、卒業式例会を開催致しました。本年はJCI館山にご尽力された7名の卒業生を輩出いたしました。当日は館山青年会議所シニアクラブの先輩諸兄をはじめ、70名の方々にご参会頂き、盛大に開催することが出来ました。

1年を通して、会員増強委員会では常に笑顔を絶やさず活動して参りました。委員会メンバーをはじめご

2021年度委員会事業報告

地域人間力開発委員会

委員長

小金 篤史

【事業報告】

2021年度、地域・人間力開発委員会では理事長の掲げた『躍動』のスローガンを念頭に活動しております。

2月には、青年会議所活動の恒例事業の一つでもある献血事業を行いました。赤十字社、シニアクラブ会員、メンバーそれぞれの協力のもと目標人数を達成することができました。必要としている方々がいて、貢献しようとする方々がいる。この関係性をもとに活動していくことが、青年会議所活動の基本の一つだと感じることが出来ました。

3月例会としてプロジェクトSAKURAを開催させて頂きました。2市1町の小学校6年生を対象に8年後の自分宛に手紙を書いて頂き、将来の目的を明白にする事が出来ました。また生徒達と一緒に記念樹の桜を植樹させて頂きました。生徒達の楽しそうな笑顔がみれた事がとても良かったと思います。

6月例会として「What's JC?」を開催させて頂きました。公益社団法人日本青年会議所にて公益社団法人日本青年会議所 専務理事 中島土くんを講師にお招きし、青年会議所の使命・目的、青年会議所運動とは何かを学ぶことが出来ました。また、例会構築の仕方や目的を明白にする事の重要性を学ぶことが出来、今後の活動がより一層質の高いものになると確信できる例会となりました。

8月の例会として、伝統工芸を学び未来を照らそうを開催させて頂きました。子供達と花火の仕組みを学び、模型を作りました。子供達の豊かな発想力、想像力に触れる事が出来た例会になりました。

11月の例会として、未来を照らす 地域を照らすを開催させて頂きました。8月例会にて子供達が作成したオリジナル花火を打ち上げ、WEB配信の中で実況し案内させて頂きました。例会終了後、参加者の方から多くの御礼の言葉を頂き、地域を創り、地域を巻き込む事が出来たと実感できました。新型コロナウィル。感染症の影響により、当初予定していた活動が行えませんでしたが、1年間地域の皆様に関わり、青年会議所メンバーだからこそ出来る影響力を考え活動してきました。

活動してきた時間、経験、思い出すすべてが私の財産となりました。1年間有難う御座いました。

第2号議案

一般社団法人 館山青年会議所
2021年度第3次修正予算(案)

一般社団法人 館山青年会議所
2021年度理事長 早川 剛史

(単位:円)

科 目	2021年度 第2次修正予算	2021年度 第3次修正予算	摘要
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①特定資産運用収入	0	0	
特定資産利息収入	0	0	
②会費収入	4,130,000	4,130,000	
正会員会費収入			
基本会員収入	4,000,000	4,000,000	120,000円×33名+40,000円×1名
付加金収入	130,000	130,000	
【付加金収入内訳】			
新入会員入会金	20,000	20,000	20,000円×1名
新入会員予定金	0	0	
特別会員会費	100,000	100,000	20,000円×5名
賛助会員会費	10,000	10,000	
賛助会員予定金	0	0	
特定会員会費収入	0	0	
③事業収入	0	156,000	
登録料収入	0	156,000	8月例会登録料
懇親会収入	0	0	
広告料収入	0	0	
販売収入	0	0	
雑収入	0	0	
④受取補助金等収入	0	0	
国庫補助金収入	0	0	
地方公共団体補助金収入	0	0	
民間補助金収入	0	0	
補助金等交付業務受託収入	0	0	
国庫助成金収入	0	0	
地方公共団体助成金収入	0	0	
民間助成金収入	0	0	
⑤受取負担金収入	0	0	
受取負担金収入	0	0	
⑥受取寄付金収入	200,000	842,000	
受取寄付金収入	200,000	842,000	シニア通信費+寄付金
受取募金収入	0	0	
⑦雑収入	0	5,475	
受取利息収入	0	14	受取利息
その他雑収入	0	5,461	自動販売機販売収入等
⑧他会計からの繰入金収入	0	71,609	
日本JC本体会計からの繰入金収入	0	71,609	JCIクレジットカードによるLOM還元金
地区・ブロック協議会からの繰入金収入	0	0	
その他地区ブロックからの繰入金収入	0	0	
周年積立預金取崩収入	0	0	
事業特別基金取崩収入	0	0	
災害支援特別基金取崩収入	0	0	
⑨前期からの繰入金	1,000,000	1,000,000	
前期からの繰入金	1,000,000	1,000,000	
事業活動収入計	5,330,000	6,205,084	
2. 事業活動支出			
①事業費支出	2,176,035	1,707,497	
事業費支出	2,176,000	1,707,497	
補助金支出	0	0	
事業予備費支出	35	0	
②管理費支出	1,991,970	1,199,351	
会議費支出	130,000	2,360	新年総会・定期総会
給料手当支出	0	0	
俸給支出	0	0	
手当支出	0	0	
臨時雇用賃金支出	0	0	
退職給付手当支出	0	0	
福利厚生費支出	0	0	
法定福利費支出	0	0	
福利費支出	0	0	
厚生費支出	0	0	
旅費交通費支出	0	0	
通信運搬費支出	0	0	
電話代支出	140,000	101,203	FAXを含む
運搬代支出	0	0	
その他通信費支出	50,000	0	郵送料(周年切手を使用)
図書・研修支出	180,000	179,100	JC手機・本
消耗品支出	214,000	120,160	旧事務消耗品費、消耗品費
リース料支出	0	0	
賃借料支出	480,000	480,000	事務局40,000×12ヶ月
修繕支出	0	0	
印刷製本費支出	156,000	33,404	コピー機代含
業務委託支出	90,000	51,810	ホームページ更新料(20000)・浄化槽(7000)・
保険料支出	0	0	
租税公課	0	0	
固定資産税	0	0	
その他の租税公課	0	0	
涉外費	250,000	62,480	旧渉外費+慶弔費
水道光熱費支出	180,000	105,770	
支払手数料支出	60,000	7,040	旧事務雜費(振込手数料)
雑支出	60,970	56,024	登記事項変更
管理・運営予備費支出	1,000	0	管理費支出の3%以内

③負担金支出	961,995	935,234	
加盟団体会費支出	707,995	557,734	
【加盟団体会費支出内訳】			
日本JC会費(付加金含)	195,000	195,000	5,000円×33名+基本料30,000
JC1会費	55,770	51,909	1,573円×33名
国際協力資金	60,225	60,225	1,825円×33名
日本JC出向者負担金	140,000	140,000	20,000円×7名
We Believe購読料	99,000	99,000	3,000円×33名
日本JC追加会費	0	0	
JC関係費	150,000	3,600	新入会員ネームプレート・バッジ
日本JC全国大会	0	0	
日本JC京都会議負担金	8,000	8,000	
地区会費支出	254,000	377,500	
【地区会費支出内訳】			
関東地区協議会会費	43,000	43,000	1000円×33名+基本料10,000円
関東地区協議会大会	0	115,500	
ブロック協議会会費	86,000	94,000	2,000円×33名+基本料20,000円+会員登録料10,000円
ブロック大会	99,000	99,000	3,000円×33名
地区予備費	26,000	26,000	LOM13,000円+役員13,000円
④他会計への繰入金支出	200,000	1,063,002	
日本JC本体会計への繰入金支出	0	0	
地区・ブロック協議会への繰入金支出	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	
退職給付手当積立金支出	0	0	
事業特別基金支出	0	663,014	
周年事業積立金支出	200,000	399,988	
災害支援特別基金	0	0	
事業活動支出計	5,330,000	4,905,084	
事業活動収支差額	0	1,300,000	
科目	2021年度 第2次修正予算	2021年度 第3次修正予算	摘要

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入			
①特定資産取崩収入	0	0	
退職給付引当資産取崩収入	0	0	
○○事業引当資産取崩収入	0	0	
減価償却引当資産取崩収入（特定資産）	0	0	
②固定資産売却収入	0	0	
什器備品売却収入	0	0	
③固定資産取崩収入	0	0	
減価償却引当資産取崩収入（その他資産）	0	0	
○○基金引当資産取崩収入	0	0	
④敷金・保証金戻り収入	0	0	
敷金戻り収入	0	0	
保証金戻り収入	0	0	
投資活動収入計	0	0	
2. 投資活動支出計			
①特定資産取得支出	0	0	
退職給付引当資産取得支出	0	0	
○○事業引当資産取得支出	0	0	
減価償却引当資産取得支出（特定資産）	0	0	
②固定資産取得支出	0	0	
建物付属設備取得支出	0	0	
什器備品取得支出	0	0	
プログラム開発費取得支出	0	0	
減価償却引当資産取得支出（その他資産）	0	0	
災害基金引当資産取得支出	0	0	
③敷金・保証金支出	0	0	
敷金支出	0	0	
保証金支出	0	0	
投資活動支出計	0	0	
投資活動収支差額	0	0	

III 財務活動収支の部

1. 財務活動収入			
①借入金収入	0	0	
財務活動収入計	0	0	
2. 財務活動支出			
①借入金返済支出	0	0	
財務活動支出計	0	0	
財務活動収支差額	0	0	
当期収支差額	0	1,300,000	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	1,300,000	

第3号議案

一般社団法人 館山青年会議所
2021年度決算(案)一般社団法人 館山青年会議所
2021年度理事長 早川 剛史

(単位：円)

科 目	2021年度 第3次修正予算	2021年度 決算	摘要
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①特定資産運用収入	0	0	
特定期利回り収入	0	0	
②会費収入	4,130,000	4,130,000	
正会員会費収入	4,000,000	4,000,000	120,000円×33名+40,000円×1名
基本会員収入	4,000,000	4,000,000	
付加金収入	130,000	130,000	
【付加金収入内訳】			
新人会員入会金	20,000	20,000	20,000円×1名
新人会員予定金	0	0	
特別会員会費	100,000	100,000	20,000円×5名
賛助会員会費	10,000	10,000	
賛助会員予定金	0	0	
特定会費収入	0	0	
③事業収入	156,000	156,000	
登録料収入	156,000	156,000	8月例会登録料
懇親会収入	0	0	
広告料収入	0	0	
販売収入	0	0	
雑収入	0	0	
④受取補助金等収入	0	0	
国庫補助金収入	0	0	
地方公共団体補助金収入	0	0	
民間補助金収入	0	0	
補助金等交付業務受託収入	0	0	
国庫助成金収入	0	0	
地方公共団体助成金収入	0	0	
民間助成金収入	0	0	
⑤受取負担金収入	0	0	
受取負担金収入	0	0	
⑥受取寄付金収入	842,000	842,000	
受取寄付金収入	842,000	842,000	シニア通信費+寄付金
受取募金収入	0	0	
⑦雑収入	5,475	5,475	
受取利息収入	14	14	受取利息
その他雑収入	5,461	5,461	自動販売機販売収入等
⑧他会計からの繰入金収入	71,609	71,609	
日本J.C本体会計からの繰入金収入	71,609	71,609	JCIクレジットカードによるLOI還元金
地区・ブロック協議会からの繰入金収入	0	0	
その他地区ブロックからの繰入金収入	0	0	
周年積立預金取崩収入	0	0	
事業特別基金取崩収入	0	0	
災害支援特別基金取崩収入	0	0	
⑨前期からの繰入金	1,000,000	1,000,000	
前期からの繰入金	1,000,000	1,000,000	
事業活動収入計	6,205,084	6,205,084	
2. 事業活動支出			
①事業費支出	1,707,497	1,707,497	
事業費支出	1,707,497	1,707,497	
補助金支出	0	0	
事業予備費支出	0	0	
②管理費支出	1,199,351	1,199,351	
会議費支出	2,360	2,360	新年総会・定期総会
給料手当支出	0	0	
俸給支出	0	0	
手当支出	0	0	
臨時雇用賃金支出	0	0	
退職給付手当支出	0	0	
福利厚生費支出	0	0	
法定福利費支出	0	0	
福利費支出	0	0	
厚生費支出	0	0	
旅費交通費支出	0	0	
通信運搬費支出	0	0	
電話代支出	101,203	101,203	FAXを含む
運搬代支出	0	0	
その他通信費支出	0	0	
図書・研修支出	179,100	179,100	郵送料(周年切手を使用)
消耗品支出	120,160	120,160	JC手機・本 旧事務消耗品費、消耗品費
リース料支出	0	0	
賃借料支出	480,000	480,000	事務局40,000*12ヶ月
修繕支出	0	0	
印刷製本費支出	33,404	33,404	コピー機代金
業務委託支出	51,810	51,810	ホームページ更新料(25000)・浄化槽(10000)・
保険料支出	0	0	
租税公課	0	0	
固定資産税	0	0	
その他の租税公課	0	0	
涉外費	62,480	62,480	旧涉外費+慶弔費
水道光熱費支出	105,770	105,770	
支払手数料支出	7,040	7,040	旧事務雜費(振込手数料)
雑支出	56,024	56,024	登記事項変更 0 管理費支出の3%以内
管理・運営予備費支出	0	0	

(3)負担金支出	935,234	935,234	
加盟団体会費支出	557,734	557,734	
【加盟団体会費支出内訳】			
日本JC会費(付加金含)	195,000	195,000	
JC1会費	51,909	51,909	
国際協力資金	60,225	60,225	
日本JC出向者負担金	140,000	140,000	
We Believe講読料	99,000	99,000	
日本JC追加会費	0	0	
JC関係費	3,600	3,600	
日本JC全国大会	0	0	
日本JC京都会議負担金	8,000	8,000	
地区会費支出	377,500	377,500	
【地区会費支出内訳】			
関東地区協議会会費	43,000	43,000	
関東地区協議会大会	115,500	115,500	
ブロック協議会会費	94,000	94,000	
ブロック大会	99,000	99,000	
地区予備費	26,000	26,000	
(4)他会計への繰入金支出	1,063,002	1,063,002	
日本JC本体会計への繰入金支出	0	0	
地区・ブロック協議会への繰入金支出	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	
退職給付手当積立金支出	0	0	
事業特別基金支出	663,014	663,014	
周年事業積立金支出	399,988	399,988	
災害支援特別基金	0	0	
事業活動支出計	4,905,084	4,905,084	
事業活動収支差額	1,300,000	1,300,000	
科目	2021年度 第3次修正予算	2021年度 決算	摘要

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入		
①特定資産取崩収入	0	0
退職給付引当資産取崩収入	0	0
○○事業引当資産取崩収入	0	0
減価償却引当資産取崩収入(特定資産)	0	0
②固定資産売却収入	0	0
什器備品売却収入	0	0
③固定資産取崩収入	0	0
減価償却引当資産取崩収入(その他資産)	0	0
○○基金引当資産取崩収入	0	0
④敷金・保証金戻り収入	0	0
敷金戻り収入	0	0
保証金戻り収入	0	0
投資活動収入計	0	0
2. 投資活動支出計		
①特定資産取得支出	0	0
退職給付引当資産取得支出	0	0
○○事業引当資産取得支出	0	0
減価償却引当資産取得支出(特定資産)	0	0
②固定資産取得支出	0	0
建物付属設備取得支出	0	0
什器備品取得支出	0	0
プログラム開発費取得支出	0	0
減価償却引当資産取得支出(その他資産)	0	0
災害基金引当資産取得支出	0	0
③敷金・保証金支出	0	0
敷金支出	0	0
保証金支出	0	0
投資活動支出計	0	0
投資活動収支差額	0	0

III 財務活動収支の部

1. 財務活動収入		
①借入金収入	0	0
財務活動収入計	0	0
2. 財務活動支出		
①借入金返済支出	0	0
財務活動支出計	0	0
財務活動収支差額	0	0
当期収支差額	1,300,000	1,300,000
前期繰越収支差額	0	0
次期繰越収支差額	1,300,000	1,300,000

収支決算書

収入の部		支出の部	
適用	金額	適用	金額
特定資産運用収入	0	事業費支出	1,707,497
会費収入	4,130,000	管理費支出	1,199,351
事業収入	156,000	負担金支出	935,234
受取補助金等収入	0	他会計への繰入金支出	1,063,002
受取負担金収入	0		
受取寄付金収入	842,000		
雑収入	5,475		
他会計からの繰入金収入	71,609		
前期からの繰入金	1,000,000		
合 計	6,205,084	合 計	4,905,084

余 剰 金 ¥1,300,000 .-

貸借対照表

貸 方		借 方	
適用	金額	適用	金額
現金	0	次年度繰越金	6,393,323
以下 館山信用金庫 本店通帳			
普通 1343759	1,300,000		
以下 千葉銀行 館山支店通帳			
普通 1010943	0		
普通 3515600	2,000,000		
普通 1225419	62		
普通 3519761	2,588,611		
普通 3572301	504,650		
合 計	6,393,323	合 計	6,393,323

特別会計

適用	金額
周年積立金 千葉銀行館山支店普通 3515600	2,000,000
事務局員退職金等準備金 千葉銀行館山支店普通 1225419	62
事業特別基金 千葉銀行館山支店普通 3519761	2,588,611
災害支援特別基金 千葉銀行館山支店普通 3572301	504,650
合 計	5,093,323

特別会計

適用	金額
資産の部	
現金	0
資産の部 銀行貯金	
千葉銀行館山支店普通 1010943	0
千葉銀行館山支店普通 3515600	2,000,000
千葉銀行館山支店普通 1225419	62
千葉銀行館山支店普通 3519761	2,588,611
千葉銀行館山支店普通 3572301	504,650
館山信用金庫本店普通 1343759	1,300,000
資産計	6,393,323
負債の部	0
差引純資産	6,393,323

余剰金処分報告

2021年度、事業を遂行した結果、余剰金は以下の通りとなります。

(1) 一般会計 金 1,300,000 円也

となることをご報告致します。

金 1,300,000 円を繰越金とする。

監査報告書

私ども監事は、令和3年1月1日から令和3年12月31日までの事業において、当一般社団法人の定款第18条に基づき理事会及びその他の重要な会議に出席する各理事の作成した事業報告書を閲覧し、重要な決裁書類を調査し且つ計算書類について検討を加えた結果、次のように報告致します。

- (1)事業報告は法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2)貸借対照表及び収支計算書については法人の財産状況を正しく示しているものと認めます。
- (3)会計に関する収支の領収書及び明細書を閲覧調査した結果、全て相当であると認めます。
- (4)理事の職務遂行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和3年2月29日

一般社団法人館山青年会議所

監事 古田 伸司



監事 広上 真吾



物 品 リ ス ト

品名	数量	品名	数量
1 JCゴング	1	31 ビデオカメラ	1
2 スチール棚	4	32 ノートパソコン	1
3 国旗・JC旗板	1	33 デジタルカメラ	1
4 綱領・JCソング板	1	34 トランシーバー(大)	3
5 JC旗	1	35 トランシーバー(小)	3
6 館山JCのぼり	4	36 レコーダー	1
7 印刷機	1	37 会計用カバン	1
8 コピー機	1	38 野球用品	1式
9 会議用机	1	39 キャンプ用具	10セット
10 折りたたみ机(小)	6	40 テント	25
11 折りたたみ机(大)	23	41 本部テント	2
12 会議用椅子	63	42 キャンプ用椅子	4
13 スチール事務机	2	43 キャンプ用テーブル	2
14 スチールロッカー	2	44 魚釣り用びく	5
15 スチール書庫	5	45 救急箱	2
16 電話	1	46 ピンポン用具	1式
17 FAX	1	47 冷凍冷蔵庫	1
18 テレビ	1	48 ホワイトボード	1
19 ビデオ&DVD	1	49 スポーツタイマー	1
20 パソコン	1	50 プロジェクター	1
21 インクジェットプリンター	2	51 スクリーン	2
22 シュレッダー	1	52 電源タップ	13
23 テプラ	1		
24 電卓	1		
25 黒板	1		
26 掛け時計	2		
27 石油ストーブ	2		
28 ワイヤレスマイク	2		
29 ハンドマイク	1		
30 スピーカー	1		

《2021年度卒業生一覧》

薦岡 利光 昭和56年4月19日生
2021年 入会 地域・人間力開発委員会

有限会社 ネオフィリアン

須原 邦明 昭和56年6月3日生 血液型AB型 有限会社アワ
2013年 入会 経営開発委員会
2014年 人間力育成委員会
2015年 地域開発委員会
2016年 青少年開発委員会
2017年 組織研修委員会
2018年 組織委員会 千葉ブロック／連携推進委員会
2019年 地域力向上委員会
2020年 理事 人間力開発委員会 委員長 千葉ブロック／アカデミー委員会
2021年 地域・人間力開発委員会 日本JC／総務グループ財務運営会議

矢上 真吾 昭和56年6月13日生 血液型B型 鍼灸整体院 和 からだみなおし処
2014年 入会 地域開発委員会
2015年 地域開発委員会
2016年 理事 社会開発委員会 委員長 千葉ブロック／アカデミー委員会
2017年 地域創造委員会
2018年 ひとつづくり委員会 副理事長
2019年 理事 専務理事 兼 副理事長
2020年 理事 第52代理事長
2021年 直前理事長 関東地区協議会／地区大会運営委員会
日本JC／総務グループ財務運営会議 総括幹事

千原 清之 昭和56年8月11日生 血液型B型 株式会社岡部建設
2009年 入会 組織力強化委員会
2010年 まちづくり委員会 千葉ブロック／広報涉外委員会
2011年 理事 専務理事
2012年 理事 地域交流委員会 委員長 千葉ブロック／会員大会委員会
2013年 社会開発委員会
2014年 理事 会員拡大特別委員会 副委員長 千葉ブロック／拡大・広報委員会
2015年 理事 総務委員会 会計理事
2016年 理事 副理事長 千葉ブロック／ブロック大会委員会 広報幹事
2017年 理事 第49代理事長
2018年 直前理事長 千葉ブロック／連携推進委員会
日本JC／国土強靭化委員会
2019年 監事
2020年 監事 千葉ブロック／運営専務
2021年 理事 地域・人間力開発委員会 副委員長 関東地区協議会／地区大会運営委員会
日本JC／総務グループ財務運営会議

《2021年度卒業生一覧》

山口 誠 昭和56年9月24日生 血液型A型 山口緑園

2017年 入会 青少年委員会
2018年 ひつづくり委員会
2019年 地域力向上委員会
2020年 人間力開発委員会
2021年 地域・人間力開発委員会

日本JC／総務グループ財務運営会議

小金 篤史 昭和56年11月13日生 血液型O型 小金設備工業株式会社

2018年 入会 組織委員会
2019年 地域力向上委員会
2020年 社会開発委員会
2021年 理事 地域・人間力開発委員会 委員長

千葉ブロック／事務局次長
日本JC／総務グループ財務運営会議

鈴木 照久 昭和56年12月6日生 血液型O型 社会福祉法人白寿会

2007年 入会 組織運営委員会
2008年 青少年開発委員会
2009年 理事 ひつづくり委員会 委員長
2010年 理事 副理事長
2011年 理事 副理事長
2012年 理事 総務委員会 委員長
2013年 理事 副理事長 兼 周年式典実行委員長
2014年 理事 総務委員会 運営管理室
2015年 理事 専務理事
2016年 理事 長期計画委員会 副委員長
2017年 理事 副理事長
2018年 理事 第50代理事長
2019年 直前理事長
2020年 監事
2021年 顧問

千葉ブロック／協働運動推進委員会
千葉ブロック／会員大会委員会
千葉ブロック／会員大会委員会 副委員長
千葉ブロック／アカデミー委員会 地区幹事
千葉ブロック／広報・アカデミー委員会
千葉ブロック／連携推進委員会

千葉ブロック／ブロック大会委員会 委員長
千葉ブロック／連携推進委員会

千葉ブロック／副会長
日本JC／総務グループJC拡大会議
千葉ブロック／会長
関東地区協議会／副会長
千葉ブロック／直前会長
関東地区協議会／顧問
日本JC／総務グループ財務運営会議 議長

例会・事業スケジュール

	理 事 会	例 会	正 副	じ ゃ が い も	会 員 会 議 所
1月	7	14	21		30 (八千代)
2月	11	18	25		27 (習志野)
3月	11	18	25		20 (佐原)
4月	8	15	22	28	24 (WEB)
5月	6	13	20		30 (かすさ)
6月	10	17	24	6	26 (松戸)
7月	8	15	22		24 (流山)
8月	12	19	26	29	
9月	9	16	23		25 (八日市場)
10月	7	14	21	20	23 (WEB)
11月	4	11	18		21 (成田)
12月	2	9	16		11 (館山)

日本JC

ブロック事業

京都会議	1月21日~24日	賀詞交換会	1月7日
ASPAC	6月2日~5日	ブロック大会	9月5日
関東地区大会	7月3日	さよならブロック	11月21日
サマコン	7月17日~18日		
全国大会	10月7日~10日		
世界大会	11月16日~20日		
ありがとう関東地区	11月28日		



<https://www.tateyamajc.or.jp/schedule>

2021年度 総会及び例会・事業報告

例 会	月 日	例 会 内 容	担 当 委 員 会
新年総会	1月14日	2021年度 新年総会	総務委員会
2月例会	2月18日	2021年度の出航（はじまり） ～持続可能な発信～	会員増強委員会
2月事業	2月28日	献血事業	地域・人間力開発委員会
3月例会	3月11日	プロジェクト SAKURA	地域・人間力開発委員会
4月例会	4月15日	究極の防災 ～災害に対するリスクマネージメント～	総務委員会
5月例会	5月23日	「MTGプロジェクト」 南房総ティクアウトグランプリ	会員増強委員会
6月例会	6月17日	「What's JC！」	地域・人間力開発委員会
7月例会	7月10日	「持続不可能世界から脱出せよ ～SDGs MISSION～」	総務委員会
定時総会	9月16日	2021年度定時総会	総務委員会
10月例会	10月14日	会員オリエンテーション ～地域を愛し、仲間を愛す～	会員増強委員会
8月例会	10月16日	伝統工芸を学び未来を照らそう	地域・人間力開発委員会
10月事業	10月26日	シニア交流会	地域・人間力開発委員会
11月例会	11月13日	未来を照らす 地域を照らす	地域・人間力開発委員会
12月例会	12月21日	2021年度一般社団法人館山青年会議所 卒業式例会	会員増強委員会

2021年度 委員会開催経過報告

委員会名	2020年		2021年							
	月	日	月	日	月	日	月	日	月	
総務委員会	10月	8, 21	1月	8,19,28	4月	2,8,13,14,30	7月	1,2,5,6,7,8,9,10,20	10月	18,25
	11月	4,13,26	2月	22,28	5月	13,21,25	8月	4,27	11月	30
	12月	2,11,17	3月	4,19,25	6月	1,4,18,20,26 27,29	9月	6,10,	12月	8
会員増強委員会	10月	22	1月	19	4月	23,30	7月	30	10月	2,3,6,13
	11月	23	2月	16,17	5月	15,20,21	8月	24	11月	10,16
	12月	16	3月	17	6月	16	9月	29	12月	5,15,20,27
地域・人間力 開発委員会	10月	27	1月	16	4月	30	7月	15,27	10月	25
	11月	20	2月	26	5月	26	8月		11月	1,2,10
	12月	8	3月	4	6月	5,28	9月	27	12月	22

2021年度理事予定者会議および理事会議 出席率

		10/15	11/5	11/19	12/4	1/7	2/11	3/11	4/8	4/15	5/6	6/11	7/12	8/12	9/9	10/11	11/4	12/2	出席率
	予定①	予定②	予定③	予定④	第1回	臨時①	第2回	第3回	第4回	臨時②	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	出席率
理事長	早川剛史	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
専務兼副理事長	川名義人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
副理事長	御子神裕崇	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
副理事長	青木崇	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
	小計	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
委員長理事	福原巧太	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	94%
事務局長	高瀬直也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	94%
財政局長	大橋直人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	94%
	小計	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	2	3	3	3	2	3	3	94%
委員長理事	望月大輝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	94%
	小計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
委員長理事	小金篤史	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100%
委員長理事	千原清之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	89%
	小計	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	94%
	合計	10	9	10	10	10	9	10	10	9	10	9	10	9	9	10	10	9	94%
	出席率	100%	90%	100%	100%	100%	90%	100%	90%	100%	100%	90%	100%	90%	100%	100%	100%	90%	94%

直前理事長	矢上真吾	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	89%
顧問	鎌木照久	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	89%
外部監事	吉田真司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	83%
	小計	3	2	3	2	3	3	2	3	2	3	3	2	3	3	2	3	1	3

2021年度 例会出席表

所属	役職	氏名	1月新年例会		2月例会		3月例会		4月例会		5月例会		6月例会		7月例会		8月例会		9月例会		10月例会		11月例会		12月例会		合計	出席率
			出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠	出欠			
執行部	理事長	早川 錠史	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%	
	副理事長・監査	矢上 真吾	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	90.9%	
	専務理事	川名 稔人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%	
	副理事長	御子神 実	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%	
	副理事長	青木 崇	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%	
	外部監査	吉田 真司																								0.0%		
	顧問	鈴木 剛久	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%	
総務委員会	委員長	福原 巧志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%	
	副委員長	高瀬 風樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%	
	財政局長	大瀬 達人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	80.9%	
		松泽 宗一																								9.1%		
		代田 寛兒	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	81.8%	
		石井 聰智	○				○				○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	54.5%
		飯崎 ひと	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	90.9%	
		高橋 雄生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	90.9%	
		永井 久晴				○																				45.5%		
		出口 悠平				○																				38.4%		
企画・増殖委員会	委員長	望月 大輔	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%	
	副委員長	吉野 神悟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%	
	顧問	矢上 真吾																								0.0%		
		福原 康多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	99.9%	
		田村 匠哉	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	81.8%	
		本間 充	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%	
		田中 ヒロト	○			○																				27.3%		
		三平 英司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	81.8%	
		吉田 覚司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	90.9%	
		小林 鶴次	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%	
地域・人間力開拓委員会	副委員長理事	千恵 清之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%	
	顧問	鈴木 剛久																								0.0%		
		鷹岡 利允																								27.3%		
		須崎 邦明	○	○																						54.5%		
		山口 雄			○																					54.5%		
		鈴木 貴也			○																					27.3%		
		田中 康平	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	90.9%	
		根岸 晃二																								9.1%		
		小柴 純太																								8.1%		
合計			22	21	27	23	28	24	23	21	24	24	33	28	27													
出席率			88.7%	83.8%	81.8%	89.7%	72.7%	72.7%	89.7%	83.8%	72.7%	100.0%	78.6%	81.8%														

100%出席者 12名(11月例会まで)

2022年度

一般社団法人 館山青年会議所

事業計画
予算計画

2022年度 一般社団法人館山青年会議所 事業計画（案）

第54代理事長 青木 崇

【スローガン】

継 承

～明るい豊かな未来のために～

【 所 信 】

一はじめに一

未だに猛威を振るう新型コロナウィルス感染症により、私たちの日常は大きな変化を余儀なくされました。これまで当たり前に過ごしてきた日常生活も制限され、どこに行くにも、何をするにも今までの常識は通用しない時代となりました。会いたい人とも会えない、行きたい場所へも行けない、従来では考えられなかつたことが今、現実に起きています。

そして、その影響は青年会議所活動においても顕著に表れています。地域を明るく豊かにするために行ってきた数々の例会や事業は中止、変更を余儀なくされ、同じ時間を共有し、激論を交わし、各々を高めあってきた機会も制限されるようになりました。青年会議所に所属する意味、青年会議所メンバーとして活動する意義、多くの諸先輩方が築いてこられた歴史への敬意、本来活動の中で感じることが出来るこれらの感情に触れることさえ難しい日々を歩んでいます。

2022年も、新型コロナウィルス感染症がもたらす様々な環境、変化に対応し、ニューノーマルな時代を歩むことが求められることが予想されます。しかし、そのような環境下だからこそ、改めて青年会議所の本質、意義を見つめなおし、青年会議所メンバーが持つ力を最大限に發揮することが求められるのだと思います。1969年10月26日の設立以来、長きに渡り先輩方が築いてこられた歴史と伝統に、今を生きる私たちの想いを乗せて、新たなページを刻んでいきたいと思います。

この歴史と伝統のある館山青年会議所理事長という役職をお預かりするということは、気が引き締まる思いと共に、このような大きな機会を頂いたことに感謝いたします。共に活動するメンバー、支えてくれる家族、諸先輩方をはじめとする地域の皆様にとって有益な館山青年会議所であり続けられるよう、努力、精進していくことをここに宣言します。

一継承一

昨年度実施した、2022年度日本青年会議所会頭中島土君の講演の中で、「先人木を植え、後人涼を得る」という言葉がありました。今現在行っていることが、未来を作り、未来を歩む人たちの支えになっていくということだと私は理解しました。そして、今私たち青年会議所メンバーが行っている青年会議所活動が、正にこの言葉を具現化したものであると感じました。

自らのその場の損得で動くのではなく、地域の未来の為、私たちの子どもを含む、未来を担う子どもたちの為に活動しているということ、これが青年会議所活動の意義であり、未来への「継承」なのだと思います。

では、その青年会議所活動の意義は、誰が伝え、「継承」していくのでしょうか。単年度制であり、40歳までという時間的制約がある青年会議所では、どれだけ経験豊富なメンバーであっても、どれだけ志を持ったメンバーであっても、企業のように1人のリーダー

一が長きに渡り伝え続けることは出来ません。しかしながら、毎年様々な立場に立って青年会議所を見つめ、地域を見つめ、仲間を見つめることが出来る単年度制の青年会議所では、全てのメンバーが継承者になることが出来るのだと思います。

53年という歳月を歩んできた館山青年会議所は、間違いなくこの地域に必要不可欠な組織であると私は断言します。どのような時代が来ても、いつの時代も、館山青年会議所がこの地域に必要とされる組織であり続けるため、この地域を明るく豊かにするために、仲間と共に一步踏み出し、館山青年会議所を「継承」していきましょう。

—持続可能な組織づくり—

この地域を明るく豊かにし続けるためには、館山青年会議所がこの地に存在し続け、この地域のリーダーとなる人材に成長の場を提供し続けることが不可欠です。「1人の100歩より、100人の1歩」という言葉があるように、1人でも多くの志を同じくする仲間を迎え、同じベクトルに向かって歩むことが出来れば、その力はとても大きなものとなり、この地域に大きな影響を与えることが出来るでしょう。館山青年会議所の持つ力、意義を発信し続け、地域を愛する同志を見つけ、仲間としていきましょう。

—組織強化—

メンバー個人の成長は、社業の成長、そして地域の成長に繋がります。青年会議所における能力の向上だけではなく、社業や地域に貢献できる能力の向上により、この青年会議所を卒業しても地域を明るく豊かにし続けられるような人財となるべく、レベルアップを図りましょう。また、会社、家族など周囲の方々を始めとする地域の方々に青年会議所の魅力、意義を理解していただき、各メンバーが自信を持って青年会議所活動を行えるよう、館山青年会議所を発信していきましょう。

—未来に繋がる人づくり—

今を生きる私たちが、未来へと継承していくべき大きなものは、「人」であると考えます。「人」は「財産」です。この地域の未来を担う子どもたちに、様々な体験、経験をさせてあげることが出来れば、きっと子どもたちは私たちの想像を超える成長をし、未来へと繋げてくれます。コロナ禍において、閉塞感に覆われている子どもたちに明るい笑顔が生まれるような企画をし、館山青年会議所の、そして、この地域の未来を創る人財づくりの一翼を担えるような活動をしていきましょう。

—地域とのつながり—

令和元年房総半島台風から新型コロナウィルス感染症拡大と、地域を取り巻くニュースは暗いニュースばかりです。地域を活気づけ、明るく豊かにしていくのは、私たち青年経済人の責務です。2023年度には、創立55周年を迎、第71回関東地区大会の主管LOMとしての役割を控えています。地域をはじめ、関東地区協議会、千葉ブロック協議会との連携をより強固なものとし、未来へと繋がる活動をしていきましょう。

—おわりに—

青年会議所活動の醍醐味は、新しいモノに触れる事だと私は考えます。新しい人と繋がり人脈を広げ、新しい考え方を学び知見を広め、新しい挑戦をし自らを高める、このことが自らを、社業を、青年会議所を、そして地域をより明るく豊かにすることに繋がると思います。新たな一步を踏み出すということには、多くの労力を要しますが、皆で勇気を持って次なるステージを目指して取り組んでいきましょう。

2022年度が一般社団法人館山青年会議所の全メンバーにとって、そしてメンバーを支えてくださる皆様にとって、最高の1年間となるよう、共に歩んでいきましょう。

【事業計画】

全委員会共通

- ・会員拡大（50%拡大）

【総務委員会】

- ・新年総会（例会）の実施
- ・会員拡大（例会）の実施
- ・定時総会（例会）の実施
- ・臨時総会
- ・各種会議の運営、設営
- ・財務・事務・HP運営
- ・事務局の管理・整備
- ・褒賞・表彰・慶弔
- ・選挙における公開討論会の設営
- ・サマーコンファレンスの設営

【組織委員会】

- ・会員スキルアップ（例会）の実施
- ・組織力強化（例会）の実施
- ・卒業式（例会）の実施
- ・新入会員入会式の設営
- ・フラワーロード
- ・出席率の管理
- ・全国大会の設営

【青少年委員会】

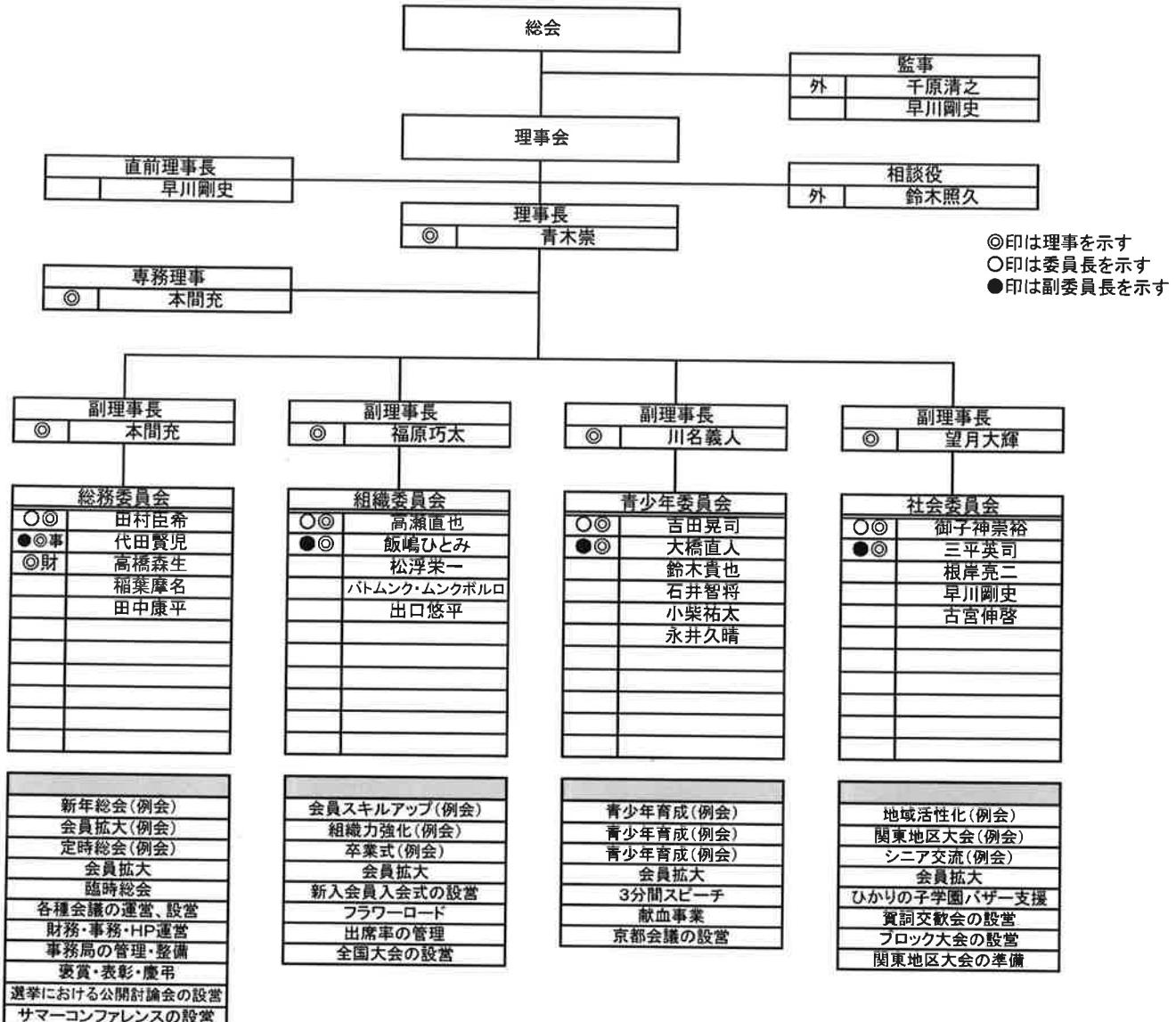
- ・青少年育成（例会）の実施
- ・3分間スピーチの設営
- ・献血事業の実施
- ・京都会議の設営

【社会委員会】

- ・地域活性化（例会）の実施
- ・関東地区大会（例会）の実施
- ・シニア交流（例会）の実施
- ・ひかりの子学園バザー支援
- ・賀詞交歓会の設営
- ・ブロック大会の設営
- ・2023年度関東地区大会の準備

第4号議案

2022年度 一般社団法人館山青年会議所 組織図(案)



◎印は理事を示す
○印は委員長を示す
●印は副委員長を示す

総務委員会

委員長 田村 臣希

【事業方針】

2022年度、総務委員会では理事長の掲げた『継承』のスローガンに基づき活動して参ります。総務委員会の担いとして、定款に基づいた総会の設営、手帳・名刺の作成、HPの管理等の事務的な管理がありますが、最大の担いとしては会員拡大の実行です。

近年の会員数は減少により、とうとう20名台のスタートとなった2022年。このまちを想い、まちの為に活動するメンバーが減少することは、この地域において大きな損失であります。「まち」は「ひと」でしか創ることができません。会員拡大こそ、JCの創設以来から変わらずに継続されてきた活動であり、活動の根幹であると考えます。地域に必要とされるJCとして、意識変革団体のJCとして、まずはメンバー、そしてまだ見ぬ新入会員の意識を変革させ、入会へと導く為に、総務委員会は会員拡大を一丁目一番地として活動して参ります。

私自身も2022年度が、現役として最後の年度となりました。入会から14年目となる2022年度、今まで学ばせて頂いた先輩方、メンバーの皆様、地域の皆様への恩に報いる為、愛する組織がさらに飛躍し、未来に継承させる為、私自身の活動の集大成として「会員拡大の木」となるものをメンバーに植えたいと思います。その一つ一つの木がやがて枝を伸ばし、大きな森となり、未来へ花を咲かせてくれるよう、悔いのない最後の1年間を全ういたします。

1年間よろしくお願ひいたします。

【事業計画】

- ・新年総会（例会）
- ・会員拡大（例会）
- ・定時総会（例会）
- ・会員拡大
- ・臨時総会
- ・各種会議の運営、設営
- ・財務・事務・HP運営
- ・事務局の管理・整備
- ・褒賞・表彰・慶弔
- ・選挙における公開討論会の設営
- ・サマーコンファレンスの設営

組織委員会

委員長 高瀬 直也

【事業方針】

2022年度、組織委員会では理事長の掲げた『継承』のスローガンに基づき活動して参ります。

2021年度も新型コロナウイルスの影響により今まで出来ていた活動が制限される場面がありました。その様な状況下でもオンラインの活用と共に集合・対面しての例会や事業が開催出来たことは苦境の中でも大きな前進であったと思います。また翌2023年度の第71回関東地区大会の主管立候補地として歩みを進めていくに当たり、最初から「出来ない」と決めつけて断念するのではなく

「まずやってみよう！」からスタートが切れる。そんな前向きな強さを持った組織として、JCI館山が行う「活動」を「運動」へ進展させ、そして未来へ継承していく必要があると考えます。

組織委員会では、組織の構築・強化を軸に行動をして参ります。各メンバーが「JCI館山の長所は〇〇だ」と発信出来れば、その一つひとつが組織全体の強みになります。全メンバーが各々長所を発見、確認し組織としての成長を促進していきます。

1年間よろしくお願ひいたします。

【事業計画】

- ・会員スキルアップ（例会）
- ・組織力強化（例会）
- ・卒業式（例会）
- ・新入会員入会式の設営
- ・フラワーロード
- ・出席率の管理
- ・全国大会設営

青少年委員会

委員長 吉田 晃司

【事業方針】

2022年度、青少年委員会では理事長の掲げた『継承』のスローガンに基づき活動して参ります。

2019年の房総半島台風に端を発し、2020年から流行している新型コロナウィルスの影響を受け南房総の子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しました。本来子どもたちの経験や成長の場であるはずの地域行事や学校行事、部活動の大会は延期や中止となり、友達との思い出作りもままならない状況になっています。このような状況を踏まえ、今年度私たち青少年委員会は子どもたちにたくさんの笑顔と、思い出を残せる例会構築をしていきます。

我々の住む地域の特色である豊かな自然は、子どもの成長過程において感受性が磨かれ課題解決能力の醸成や、五感の発達等に重要な役割を果たしていると言えます。今一度メンバー一人ひとりが地域の魅力を見つめ直し、新たな発見をすると共に、将来を担う子どもたちにこの地域の魅力を『継承』していく様活動して参ります。

今後の地域を創り上げていくのは今の子どもたちです。かけがえのない体験や経験を通じて未来の人財育成に繋げていくことが我々青少年委員会の使命として活動して参ります。

1年間よろしくお願ひいたします。

【事業計画】

- ・青少年育成（例会）
- ・青少年育成（例会）
- ・青少年育成（例会）
- ・会員拡大
- ・3分間スピーチ
- ・献血事業
- ・京都会議の設営

社会委員会

委員長 御子神 崇裕

【事業方針】

2022年度、社会委員会では理事長の掲げた『継承』のスローガンに基づき活動して参ります。

2023年度には、第71回関東地区大会の主管LOMとしての扱いを控えております。この地にて今までにない大きな大会ではありますが、JCI館山としてそれを最大の契機と捉えること、そして我々一人ひとりが主体性と当事者意識を持ち率先して南房総地域の課題や魅力の発信を行う必要があります。また開催にあたっては、我々だけではなくこの地域に住まう人々や他団体の協力が必要となります。そのために当委員会は、昨今の地域情勢と向き合い、より地域に寄り添った活動をすることに努めて参ります。

また、関東地区協議会、千葉ブロック協議会に積極的にアプローチし、全メンバーに対して、青年会議所としてのスケールメリットを体感して頂くために、機会の提供を発信して参ります。

ニューノーマルな時代を迎える中で、我々活動地域に対して青年会議所活動を時代に沿った、よりレベルの高い次元で『継承』できるよう、一切の妥協を排して考え、行動して参ります。

1年間よろしくお願ひいたします。

【事業計画】

- ・地域活性化（例会）の実施
- ・関東地区大会（例会）の実施
- ・シニア交流（例会）の実施
- ・ひかりの子学園バザー支援
- ・賀詞交歓会の設営
- ・ブロック大会の設営

第6号議案

一般社団法人 館山青年会議所
2022年度第1次修正予算(案)

一般社団法人 館山青年会議所
2022年度理事長 青木 崇

(単位:円)

科 目	2022年度 予算	2022年度 第1次修正予算	摘要
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①特定資産運用収入	0	0	
特定資産利息収入	0	0	
②会費収入	3,270,000	3,270,000	
正会員会費収入			
基本会員収入	3,120,000	3,120,000	120,000円×26名
付加金収入	150,000	150,000	
【付加金収入内訳】			
新入会員入会金	0	0	
新入会員予定金	0	0	
特別会員会費	140,000	140,000	20,000円×7名
賛助会員会費	10,000	10,000	
賛助会員予定金	0	0	
特定期会費収入	0	0	
③事業収入	0	0	
登録料収入	0	0	事業収入(キャンプ参加費・登録料等)
懇親会収入	0	0	
広告料収入	0	0	
販売収入	0	0	
雑収入	0	0	
④受取補助金等収入	0	0	
国庫補助金収入	0	0	
地方公共団体補助金収入	0	0	
民間補助金収入	0	0	
補助金等交付業務受託収入	0	0	
国庫助成金収入	0	0	
地方公共団体助成金収入	0	0	
民間助成金収入	0	0	
⑤受取負担金収入	0	0	
受取負担金収入	0	0	
⑥受取寄付金収入	200,000	200,000	
受取寄付金収入	200,000	200,000	シニア通信費
受取募金収入	0	0	
⑦雑収入	0	0	
受取利息収入	0	0	受取利息
その他の雑収入	0	0	自動販売機販売収入等
⑧他会計からの繰入金収入	0	300,000	
日本JC本体会計からの繰入金収入	0	0	JCIクレジットカードによるLON還元金
地区・ブロック協議会からの繰入金収入	0	0	
その他地区・ブロックからの繰入金収入	0	0	
周年積立預金取崩収入	0	0	
事業特別基金取崩収入	0	300,000	
災害支援特別基金取崩収入	0	0	
⑨前期からの繰入金	0	1,300,000	
前期からの繰入金	0	1,300,000	
事業活動収入計	3,470,000	5,070,000	
2. 事業活動支出			
①事業費支出	780,540	1,808,216	
事業費支出	780,000	1,805,000	
補助金支出	540	3,216	
事業予備費支出			
②管理費支出	1,953,070	2,253,070	
会議費支出	170,000	170,000	85000*2(新年総会・定期総会)
給料手当支出	0	0	
俸給支出	0	0	
手当支出	0	0	
臨時雇用賃金支出	0	0	
退職給付手当支出	0	0	
福利厚生費支出	0	0	
法定福利費支出	0	0	
福利費支出	0	0	
厚生費支出	0	0	
旅費交通費支出	0	0	
通信運搬費支出	0	0	
電話代支出	140,000	140,000	FAXを含む
運搬代支出	0	0	
その他の通信費支出	50,000	50,000	郵送料(周年切手を使用)
図書・研修支出	179,100	179,100	JG手機
消耗品支出	280,000	280,000	旧事務消耗品費、消耗品費
リース料支出	0	0	
賃借料支出	480,000	480,000	事務局40,000*12ヶ月
修繕支出	0	0	
印刷製本費支出	150,000	150,000	コピー機代合(12,500*12ヶ月)
業務委託支出	90,000	240,000	ホームページ費用(20000)、浄化槽(7000)。
保険料支出	0	0	
租税公課	0	0	
固定資産税	0	0	
その他の租税公課	0	0	
涉外費	150,000	300,000	旧涉外費+慶弔費
水道光熱費支出	180,000	180,000	
支払手数料支出	10,000	10,000	旧事務雜費(振込手数料)
雑支出	73,970	73,970	登記事項変更・カード年会費
管理・運営予備費支出	0	0	管理費支出の3%以内

③負担金支出	536,390	808,714	
加盟団体会費支出	337,390	336,714	
【加盟団体会費支出内訳】			
日本JC会費(付加金含)	160,000	160,000	5,000円×26名+基本料30,000
JC会費	43,940	43,264	1,664円×26名
国際協力資金	47,450	47,450	1,825円×26名
日本JC出向者負担金	0	0	
We Believe講読料	78,000	78,000	3,000円×26名
日本JC追加会費	0	0	
JC関係費	0	0	新入会員セレモニー・バッジ
日本JC全国大会	0	0	
日本JC京都金諸負担金	8,000	8,000	
地区会費支出	199,000	472,000	
【地区会費支出内訳】			
関東地区協議会会費	36,000	36,000	1000円×26名+基本料10,000円
関東地区協議会大会	0	13,000	500円×26名
ブロック協議会会費	150,000	150,000	5,000円×26名+基本料20,000円
ブロック大会	0	260,000	10,000円×26名
地区予備費	13,000	13,000	LOM13,000円
④他会計への繰入金支出	200,000	200,000	
日本JC本体会計への繰入金支出	0	0	
地区・ブロック協議会への繰入金支出	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	
退職給付手当積立金支出	0	0	
事業特別基金支出	0	0	
周年事業積立金支出	200,000	200,000	
災害支援特別基金	0	0	
事業活動支出計	3,470,000	5,070,000	
事業活動収支差額	0	0	
科目	2022年度 予算	2022年度 第1次修正予算	摘要

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入			
①特定資産取崩収入	0	0	
退職給付引当資産取崩収入	0	0	
○○事業引当資産取崩収入	0	0	
減価償却引当資産取崩収入(特定資産)	0	0	
②固定資産売却収入	0	0	
什器備品売却収入	0	0	
③固定資産取崩収入	0	0	
減価償却引当資産取崩収入(その他資産)	0	0	
○○基金引当資産取崩収入	0	0	
④敷金・保証金戻り収入	0	0	
敷金戻り収入	0	0	
保証金戻り収入	0	0	
投資活動収入計	0	0	
2. 投資活動支出計			
①特定資産取得支出	0	0	
退職給付引当資産取得支出	0	0	
○○事業引当資産取得支出	0	0	
減価償却引当資産取得支出(特定資産)	0	0	
②固定資産取得支出	0	0	
建物付属設備取得支出	0	0	
什器備品取得支出	0	0	
プログラム開発費取得支出	0	0	
減価償却引当資産取得支出(その他資産)	0	0	
災害基金引当資産取得支出	0	0	
③敷金・保証金支出	0	0	
敷金支出	0	0	
保証金支出	0	0	
投資活動支出計	0	0	
投資活動収支差額	0	0	

III 財務活動収支の部

1. 財務活動収入			
①借入金収入	0	0	
財務活動収入計	0	0	
2. 財務活動支出			
①借入金返済支出	0	0	
財務活動支出計	0	0	
財務活動収支差額	0	0	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	

例会・事業スケジュール

	理 事 会	例 会	正 副	じ ゃ が い も	会 員 会 議 所
1月	7	14	20		29 (松戸)
2月	3	10	17		26 (WEB)
3月	3	10	17		27 (市原)
4月	7	14	21	10	23 (WEB)
5月	5	12	19		22 (八日市場)
6月	2	9	16	14	26 (習志野)
7月	7	2	21		23 (かすさ)
8月	4	11	18		
9月	1	8	15	27	24 (流山)
10月	6	26	20	30	22 (WEB)
11月	3	10	17		26 (成田)
12月	1	8	15		10 (八千代)

日本JC

京都会議 1月20日～23日
 ASPAC 5月26日～29日
 関東地区大会 7月2日
 サマコン 7月16日～17日
 全国大会 10月7日～10日
 世界大会 11月7日～11日
 ありがとう関東地区 11月27日

ブロック事業

賀詞交換会 1月7日
 ブロック大会 9月10日
 さよならブロック 11月26日



<https://www.tateyamajc.or.jp/schedule>

特別会員及び卒業生名簿

(敬称略)

《特別会員》

石井 秀男	結繩 実	青木 謙	仲山 邦松
小林 義和	宍戸 寿夫	小泉 修一	斎藤 敏男
秋山 賢三	平野 喬	大野 豊	鈴木 彰
池田 勝	三宅 孟	高梨 晃一	原 克己
高橋 弘之	作佐部 隆	仲川 正保	鈴木 研一
山中 三千雄	石川 順一	成瀬 晴久	栗原 祥泰
中西 二二男	鈴木 紘一	原田 昌憲	神作 雅子
安田 良典	龜田 利勝	大井 仁	館石 勝
加藤 喜久夫	鈴木 照男	高橋 正	鈴木 貴士
伊原 清	小林 善吉	森川 廣男	井上 明
鈴木 俊一良	今井 光夫	佐生 尚信	岡本 康治
橋本 一郎	高橋 正朗	小濱 吉幸	清水 博志
安田 信之	森田 洋子	和泉 俊明	山田 明
望月 真	富江 喜一	宮沢 治海	鈴田 隆夫
友野 修	廣井 久夫	本橋 仲清	藤夫 信彦
鈴木 陽一	石井 守	金元 公道	井月 満
松本 弘美	鈴木 美津男	御子神 徳重	間宮 大輔
磯部 裕	友野 斎	本間 亨	田井 昌之
杉井 繁樹	水嶋 正和	三浦 一	磯部 晃淳
青木 秀夫	石井 仁	稻葉 亨	木藤 千晴
畠山 和也	石井 幹雄	鈴木 一	元忠夫
石井 孝尚	伊豆倉 和之	金木 雅和	正彦
鈴木 敬一	古宮 真一	本間 厚	仁勇
山内 一弘	武田 秀之一	栗原 二	眞二
大川 晃	蒲生 信一	佐野 敏弘	満裕
西沢 賢治	小山 彰一	若林 勉	和弥
鵜野 栄二	島野 昌弘	香山 德康	秀樹
片谷 達也	田中 武明	福原 一己	伸一
羽山 敏雄	辰野 方哉	伊部 茂樹	節文
水島 陽子	山口 光宏	加藤 正信	博文
小池 裕	森田 耕太郎	小澤 吉田	渡辺 雄二
小澤 修	川上 裕之	庄司 正明	本橋 太一
小林 鏡子	三平 真司	鈴木 義則	瀧原 学
大川 浩司	鈴木 基進	仁 三樹生	森 康弘
仁平 修	山口 勉	龍崎 史郎	川上 裕
平田 剛久	吉野 隆志	永井 敏弘	早川 克己
角田 照日人	日暮 靖	川名 潤	杉田 新太郎
外山 不二夫	早川 周作	田辺 太	
高木 義秋	龍崎 譲	三浦 徹	
前田 良行	金 成奉	長谷川 宏	
渡辺 義隆	佐藤 英明	渡 安喜雄	
宇山 隆之	松崎 正久	渡邊 伸雄	
間宮 康浩	八代 健正	渡邊 恭正	

角田 浩	江澤 正志	福原 由尚	寺澤 一郎
児玉 秀一	石井 信重	湯浅 繁之	川名 英明
西澤 由美子	川合 弘竜	金 成竜	柴田 栄樹
兼田 達	黒川 義之	石井 英之	三浦 貞一
宮下 恒彦	小原 敏祐	杉本 雅樹	安西 直之
鈴木 俊一	小高 雄二	高橋 祐一	葛西 博
上野 利光	佐藤 太一	木下 主税	佐野 晴信
矢口 盛明	久保 賢太郎	高橋 直美	藤平 靖人
長谷川 剛	諫山 智宏	高橋 正明	川名 智明
織田 曜寿	石井 修一	多田 裕二	清水 博之
佐久間 亨	古谷 憲一	山口 尚宏	小金 武史
鈴木 ゆか	戸倉 隆行	安西 貴之	安田 契史
柴山 嘉之	佐野 慎一	岩田 彰	高梨 文秀
白幡 一記	福岡 徳治	吉田 勇二	高木 壮平
矢野 岳彦	金木 俊之	岡村 順也	池田 太一
小川 伸二	中山 亮	鳥海 公司	田村 仁
丹埜 倫	石川 直樹	山口 順平	大井 久幸
神作 紀史	白藤 幸隆	内藤 雄祐	小金 好隆
川名 展弘	渡邊 博之	若林 康弘	金木 真理恵
齊藤 嘉一	吉田 真司	竹生田 知広	宇佐見 健
青木 啓明	バトフヤグ ナンデンビレグ		高木 直樹
佐藤 渉	薦岡 利光	佐藤 裕介	矢上 真吾
千原 清之	山口 誠	須原 邦明	鈴木 照久
		小金 篤史	

《賛助会員》

中村 正三郎

《物故会員》

亡 栗原 一雄	亡 松下 正己	亡 安藤 甚一	亡 稲垣 雅由	亡 秋山 忠邦
亡 望月 保宏	亡 柴田 建治	亡 長束 義房	亡 望月 陸男	亡 家城 照夫
亡 金木 武久	亡 石井 隆三	亡 榎沢 政明	亡 宮本 敏明	亡 高瀬 博美
亡 三浦 勝	亡 今村 重宣	亡 鈴木 博	亡 福原 貞夫	亡 関 和彦
亡 保科 忠臣	亡 鈴木 英男	亡 中山 功一	亡 吉田 夏雄	亡 滝口 健一
亡 矢矧 幸一郎	亡 黒川 正	亡 三堀 勉	亡 鈴木 啓夫	亡 黒川 基幸
亡 永井 充一	亡 明石 晃幸	亡 入江 一夫	亡 高橋 聖	亡 石井 則久
亡 新井 英夫	亡 中村 茂晴	亡 瀧口 喜雄	亡 渡辺 喜夫	亡 秋山 貴
亡 箱崎 健一	亡 八代 利之	亡 吉田 憲一	亡 毛利 功	亡 佐野 義雄
亡 金子 英男	亡 田中 房夫	亡 外山 庄次	亡 網代 智輝	亡 堀江 秀夫
亡 星野 久夫	亡 遠藤 正博	亡 藤田 明正	亡 笠井 裕之	

《会員数》

26名

《事務局》

千葉県館山市正木514-10

電話：0470-20-5250 FAX：0470-20-5251